

2024年1月発行



CWS JAPAN NEWSLETTER NO. 88

いつもCWS Japanの活動に温かいご支援、
ご理解をいただき、ありがとうございます

2024年も皆さまと共に

平素はCWS Japanへの温かいご支援、誠にありがとうございます。

今年の新年は能登半島での地震に加え、羽田空港での事故など、心が痛む事象が複数発生し、多くの方々が困難な状況に直面しました。その中で失われた命に心から哀悼の意を捧げるとともに、被災された皆さまに深いお見舞いを申し上げます。災害や人災がもたらす苦難に対し、私たちが一丸となって支えあい、立ち上がることが、未来への希望を育む礎となると信じています。

新たな年が始まるにあたり、CWS Japan一同は、日ごろよりお世話になっております皆さまに心からの感謝を申し上げます。

CWS Japanはこれまで以上に地域社会に寄り添い、支えあいの精神を大切にし、防災力の向上や緊急支援の拡充を通じて、未来に向けた持続可能な変革を促進してまいります。皆さまの温かいご支援と協力が、被災地域の復興と、より強く結ばれた社会の実現に向けた一翼を担うことになることを信じております。

1月4日からはアフガニスタンより10名の防災関係者が来日し、1週間の防災研修を東京・静岡で実施しました。アフガニスタンにおける度重なる土砂災害からどう身を守っていいのか、日本の砂防に関する事例を引き続き学びながら一緒に考えていきたいと思っております。



2024年も皆さまと共に

from



たった一人のためにも、世界をつなげたい。
CWS JAPAN
Church World Service

今年も変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。被災地域の方々には一日も早い復興と平穏が訪れることをお祈りし、皆さまにとっても希望に満ちた新しい年となりますようお祈りいたします。

2024年も皆さまと共に。どうぞよろしくお願いいたします。

(文：事務局長 小美野剛)

BIG ANNOUNCEMENT!

**CWS JAPANへのご寄付
は税控除の対象です。**

継続的に寄付をする

一度ずつ寄付をする

モノで寄付をする

阪神・淡路大震災 29年目を迎えて

29年前の1995年1月17日、阪神・淡路大震災が発生しました。私は当時、大阪府警で警察官をしていました。今回は当時のことを少し振り返ってみたいと思います。

阪神・淡路大震災を契機に 「自助」「共助」「公助」の3つの柱が 防災の基本に

1995年1月17日、午前5時46分。観測史上初の震度7の激震が神戸を襲い、関東大震災以来の最悪の被害をもたらしました。死者6,434名、行方不明者3名、負傷者43,792名（内閣府防災情報のホームページより抜粋）。阪神・淡路大震災は、その瞬間に多くの人々の生活を根底から揺さぶり、未曾有の被害をもたらしました。心より、震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

被害の規模は壮絶で、住家の全壊が約10万5,000棟、半壊が約14万4,000棟にものぼりました。この壊滅的な出来事を通じて「自助」「共助」「公助」の3つの柱が、防災の基本として刻まれるようになりました。

「公助」だけでは限界がある

私自身は当時、大阪府警で警察官をしていました。震災は私たち警察官にとっても過酷な試練でした。

兵庫県警察や大阪府警察を含む14府県警察本部は災害警備本部を設置し、全国から集まった機動隊員やヘリコプター、パトカーが被災地に結集しました。父も兵庫県警の一員として、兵庫県警察から50人、県外の8都道府県警察から100人の総勢150人の婦人警察官から成る「のじぎくパトロール隊」と共に、災害警備活動に奮闘した一人でした（のじぎくは兵庫県の県花）。

震災により被災した警察官もいたのですが、市民救出を最優先に考え、自ら出動した警察官が多かったそうです。活動は多岐にわたり、被災者の救出救助、地域住民の避難誘導、行方不明者の搜索活動、緊急輸送路、



阪神・淡路大震災

29年目を迎えて



復興物資輸送路の確保などの交通対策、被災地における各種犯罪防止のため、不眠不休で救援活動に従事する他府県からの応援部隊の姿がありました。

しかしながら、この困難な時期では、十分な資機材が準備できず、公助に限界があることも痛感したと多くの警察官が語っています。

2023年から開始した 「自助」「共助」の強化を目指す コミュニティ・カフェ@大久保

被災地となった阪神地区はもともと住民同士の結びつきが深く、災害時においてもその絆が大きな力を発揮しました。阪神・淡路大震災が「共助の大切さ」を再認識する契機となり、現在神戸では「福祉活動」と「防災活動」を結合させた「防災福祉コミュニティ」が小学校区を単位として拡大し、地域の強固な結束が築かれています。

阪神・淡路大震災で得られた教訓は、その後の災害時にも生かされ、首都直下地震や南海トラフ地震に備え、更なる「自助」「共助」の強化が呼びかけられています。CWS Japanが2023年から運営している東京・大久保でのコミュニティ・カフェも、世代や国籍を超えた「共助」の醸成を進めることが目的です。コミュニティ・カフェが平時から人々のつながりを深め、共に立ち上がる力を生み出す拠点となるよう、活動に取り組んでいます。

私はCWS Japanの一員となって7カ月ですが、これからも「自助」「共助」のかたちを模索し、育む活動に積極的に参加し、未来への備えを皆さまとともに築きあげていきたいと思っています。

（文：プロジェクト・オフィサー
浜田由美子）

サイラスさんの ビリヤニ教室

多文化・多世代共生を実現する
コミュニティ・カフェ@大久保
の挑戦

先日、CWS Japanが運営しているコミュニティ・カフェ@大久保の活動のひとつとして、シェフ歴19年のサイラスさんによるビリヤニ教室を開催しました。なんと告知をしたところ数日で満席に！

今回はそんな料理教室イベントの様子を、サイラスさんとの出会いも振り返りながらお届けしたいと思います。

誰でもウェルカムな コミュニティ・カフェ@大久保

2023年3月のオープニング記念イベントを皮切りに始まった、わたしたちが運営するコミュニティ・カフェ@大久保は、新大久保の日本福音ルーテル東京教会を会場に、月2回（第1・第3水曜日）オープンしています。

コミュニティ・カフェは誰でもふらっと来ることができ、オープン以来、近隣の大学生やお年寄り、外国人らが訪れる場所になっています。

大久保・高田馬場を中心とする多文化共生地域において、市民・難民・移民が出会い、つながる場づくりの活動を通して、これらの人々が見守り・見守られる、助け合いが生まれることを目的に開設しました。



ビリヤニに必要なスパイスの数々（写真：CWS Japan）

サイラスさんのビリヤニ教室をお知らせしたチラシ
(CWS Japan)

11月1日(水)
英語で学ぶ**スパイス**づくり
サイラスさんと**ビリヤニ**を作ろう！

「ビリヤニとは、インドやその周辺国で食べられているスパイスとお肉の炊き込みご飯です・・・」
(日本ビリヤニ協会公式サイトより)

時間：13:30-16:30 (終了予定)
定員：10名 (先着順事前予約制)
持ち物：エプロン、ハンドタオル
参加費：1,000円/人
会場：コミュニティ・カフェ@大久保
(日本福音ルーテル東京教会内キッチン 東京都新宿区大久保1-14-14)
JR山手線新大久保駅から徒歩5分、100円ショップCan Do並び

使用言語：英語 (通訳なし)

<講師>
サイラス ユーセフさん
パキスタン ラホール出身のクリスチャン、料理人歴19年、2019年に来日し、宗教的理由から難民申請中。

<予約フォーム> <Google Map>

<問い合わせ>
メール：public@cwsjapan.jp
電話：03-6457-6840 (担当：CWS Japan 牧)

難民・移民との出会いから始まった 各国の料理教室

コミュニティ・カフェではドリンクを片手にのんびり過ごせるのはもちろん、音楽・料理・防災まち歩き・落書きワークショップ・写真・上映会などさまざまなミニイベントを企画してきました。中でも大変人気が高いのが、難民・移民の講師による料理教室で、これまでにイラン・チリ・スリランカ・パキスタンと4カ国の料理をテーマに実施しています。

この料理教室は、CWS Japanが取り組んでいる外国人相談・伴走支援によってつながった相談者が自身のスキルや特技を活かし、参加者との食の交流から、地域住民や日本人市民の間でさまざまな気づきや理解が生まれることを願って始めました。



皆さんスマホやノートに、サイラスさんの説明を真剣にメモしていました。(CWS Japan)

すぐに定員に達した サイラスさんのビリヤニ教室

1月に開催した料理人歴19年のサイラスさんによるビリヤニ教室は、たった数日で定員に達するほどの人気でした。ビリヤニとは、中東のスパイスをふんだんに使った炊き込みピラフのようなもので、日本でもインド料理レストランなどで食べられます。

日本でもファンの多いビリヤニを、彼と一緒に作ってみようという企画に集まった参加者の中には、その分野に詳しいマニアやライターの方々もおられ、この教室について記事を書いて下さいました🔪



新大久保でパキスタン人に本場の「ビリヤニ」の作り方を学んできた！
食べるのが好き、飲むのが好き、遊ぶのが好き！美食と酒の悦楽探求WEBマガジン
🍴 食家web

また、今回の企画でひとつ工夫したのが「英語で学ぶ」という点でした。

サイラスさんは日本語が話せないため、英語で参加者と会話するしかありません。となると、通訳が必要…？しかし、誰しもに共通する料理を介すれば言語の壁は大して問題にならないだろうと、あえて通訳を入れませんでした。それによって、料理教室では参加者の間で自発的な助け合いが生まれ、終始和やかに教室が進んでいきました。

そして、大鍋でみんなで作った出来立てのビリヤニの美味しかったこと！今まで食べた中でも最高の味でした❤️



サイラスさんとの出会いもコミュニティ・カフェ@大久保でした

サイラスさんとの交流は、2023年5月にコミュニティ・カフェで行ったイベント「ワールドバザール」がきっかけでした。

彼は、パキスタン出身のクリスチャンです。イスラム教国パキスタンでクリスチャンであり続けることは彼にとって過酷だったようで、それは来日後、パキスタン人コミュニティ内でも続いたそうです。そんな彼が礼拝出席していたのが、コミュニティ・カフェの会場である日本福音ルーテル東京教会であり、イベントチラシを見て、私を訪ねてきたことが最初の出会いでした。

彼はプロの料理人👨🍳でありながらも、働けないほど健康を害していました。来日後、何度も入退院を繰り返して、医療費を払いきれずに困窮し、教会の信徒さん宅に身を寄せているという事情を抱えています。その医療費を補助するというのが、私たちが最初に行った彼への支援でした。

実は2023年12月にルーテル教会で行われたクリスマスの昼食会で彼の腕を振るってもらおうと計画していましたが、彼の体調が再び急変し、入院することになったため実現できませんでした。その後、無事退院はしたものの、彼の持病は完治する病気ではないので、今後も安心はできません。



多様な文化的背景を持つ人々と共生できる社会を目指して

私たちは、多様な文化的背景を持つ人々と共生できる多様性のある社会づくりを目指しており、コロナや自然災害など有事の際に取り残されがちな脆弱層と平時からつながることを目指して、コミュニティ・カフェの取り組みを始めました。そして、「多文化・多世代共生」というコンセプトを目指して運営しています。

そこで、次回の2024年2月7日(水)には、地域のディサービスにもお声かけして、地域の高齢者の方々も交えて「歌声カフェ🎵」を企画しています。当日は、ベトナム人の仲間が手作りしたベトナムのお菓子🍰もカフェに並ぶ予定です。ぜひ、コーヒー☕片手にご一緒に歌いましょう🎤

さいごに

在日外国人支援緊急募金のお願い

CWS Japanでは、さまざまな事情を抱え、生活困窮する在日外国人の相談・伴走支援・日本語学習支援を行っています。彼・彼女らの多くは公的支援を受けられない事情を抱える人々が多く、彼らの命をつなげるには民間の力に頼るしかありません。

12月から開始した緊急募金は、現在40名あまりの個人・団体から50万円超のご支援をいただきました。まだまだ、目標額350万円には遠い道のりです。ぜひともこの支援の輪に加わっていただければと思います。

そしてぜひ一度、私たちのコミュニティカフェにも足をお運びください。

(文：ディレクター 牧由希子)

緊急募金

生活困窮する在日外国人のため お助け下さい！

CWS Japanでは、2020年より在留資格や健康問題によって就労できず生活困窮する難民・移民の人々への支援に取り組みはじめ、外国人相談会の開催、病院・入管同行やさまざまな経済的支援を行ってきました。

なかでも、今年6月に可決された入管法改悪によって、帰国できない事情を抱える非正規滞在者は先の見えない自分たちの将来を悲観し、不安な日々を送っています。

このような難民・移民への人道支援、また彼らと日本人との出会いや交流拠点として、CWS Japanは2023年4月にコミュニティ・カフェ@大久保をオープンしました。

緊急人道支援に必要な資金

献金目標金額：**350万円**
献金受付期間：2023年12月～2024年3月

▼本支援への献金はこちらへ▼

ゆうちょ銀行 ゆうちょ振替：00160-7-486854 口座名義：特定非営利活動法人 CWS Japan トクヒ シーダブリュエス ジャパン	銀行口座 三菱UFJ銀行 神田支店 (店番331) 普通預金口座 0333767 口座名義：特定非営利活動法人CWS Japan トクヒ シーダブリュエス ジャパン
---	---

CWS Japanとは

米国に本部を置く Church World Service (CWS) の歴史は、敗戦直後の日本へ贈られた食糧の配布活動から始まりました。2011年、東日本大震災に対する緊急支援を行うため、再びCWS Japanが設立されました。

publiccwsjapan.jp

ご支援に関する詳細は下記URLよりご確認いただけます
https://www.cwsjapan.org/2023/12/01/fr_christmas_cwsjapan/

新メンバー紹介

2023年末にプログラムマネージャー兼広報を担当されていた西澤職員が、さらなるパワーアップに向けた修行の道に進んだことをきっかけに、新たにコミュニケーションを担当する2名が2023年末よりメンバーとして加わりました。

大屋千春 | コンピュータープログラマー
高橋明日香 | コミュニケーション

「我々が担当するのは"コミュニケーション"です。コミュニケーションにおいて、重要な要素のひとつが"双方向性"だと言われています。どちらかが一方的な発信や主張をするのではなく、情報を受け止め、それに対してリアクションをしよう。

CWS Japanも皆さんとのコミュニケーションを日々少しずつ重ねていければと思っています。皆さんからのコメントや質問などもどうぞ気兼ねなく、どしどしお待ちしております！」

NEW

CWS JAPAN
Church World Service

自己紹介します

コミュニケーション担当
大屋、高橋

コミュニケーションで、関係性をつむぐ / 大屋千春、高橋明日香 (コミュニケーション担当) | CWSJapan

こんにちは、CWS Japanの高橋です。2023年末にプログラムマネージャー兼広報を担当されていた西澤職員が、新たな修行の道に進んだことをきっかけに、新たにコミュニケーションを担当する2名がメンバーとして加わりました。かくいう私、高橋も...

n note (ノート) / Jan 13

全文はこちらからお読みいただけます
https://note.com/cws_japan/n/n7a3930987acc/

さまざまなSNSで 情報をお届けしています

CWS Japanでは各種SNSで、日ごろから情報をお届けしています。お好きな方法で最新情報をぜひチェックしてみてください



各種SNSは
[ここをクリックor](#)
QRコード読み込み

認定NPO法人CWS Japan
@Japan_CWS · Follow

CWS Japanが運営しているコミュニティ・カフェ@大久保で先日開催した、本場パキスタン人シェフに教わるピリヤニ料理教室の様子を、参加して下さった方が記事にしてくださいました🍴

▼新大久保でパキスタン人に本場の「ピリヤニ」の作り方を学んできた！
syokuraku-web.com/news/119029/2/
[@commucafe2023](#)

syokuraku-web.com
新大久保でパキスタン人に本場の「ピリヤニ」の...
食べるのが好き、飲むのが好き、遊ぶのが好き！
美食と酒の悦楽探求WEBマガジン

9:29 AM · Jan 23, 2024

Instagram (@cws_japan)
Instagram photos and videos
[instagram.com](https://www.instagram.com/cws_japan/)

CWSJapan | note
CWS Japanは国内外で災害対応・防災支援をするNPOです🌍
2011年の東日本大震災を機に、日本での活動を開始しました。
毎週金曜日に団体の活動や職員の想いを載せた記事を...
n note (ノート)

特定非営利活動法人CWS Japan
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館25号室

メールアドレス：
public@cwsjapan.jp
電話：
03-6457-6840



[CWSJapan](#)



[@Japan_CWS](#)



[cws_japan](#)